

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		富山県リハビリテーション病院・こども支援センター 放課後等デイサービス		公表日		令和 7年 3月 7日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・ 体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用児の状況や活動に合わせて、個別やホール等を使用しています。	車椅子やバギーの置き場所等、環境整理しながら、心地良く過ごせるスペースに配慮していきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		国の配置基準に基づき、配置しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		車椅子から降りた時は利用児が安全に過ごせるよう床面にマットを敷き、環境上配慮しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃、アルコール消毒を徹底しています。利用児の活動に合わせたスペースになっています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて、職員の見守りの中、個別の部屋やホールを使用することができます。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		業務を行う上で気になることが出てきた際には、職員間で研修を行い話し合っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		自己評価はホームページに公表します。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員間の毎朝のミーティングで話し合いを行い、業務改善に繋げています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			必要に応じて多職種で意見交換し、業務を改善していけるよう努めていきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		Web研修を含め様々な研修会や、県内外の専門研修に参加しています。		
適切な 支援の 提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		計画期間ごとにモニタリングを行い、利用児や保護者の意向を取り入れた支援計画を作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		こども達の日々の様子を職員間で共有し、課題に応じた支援方法をチームで検討しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画は職員間で共有されているため、計画に沿った支援が行われています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		保護者には連絡帳、職員間では支援記録を通して、利用児の状況が確認できるようにしています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		日々、多職種間で情報共有し、立案しています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		年齢や発達状況、特性に合わせて、利用児の体験が広がるよう様々な活動プログラムを行っています。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝のミーティング等を通して、スケジュールや利用児の情報を共有しています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		利用児への支援や処置の変更等がないか確認し、職員間で情報を共有しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		利用後には個々の状況を記録し、支援に反映しています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に一度のモニタリングを実施し、見直しを行っていますが、必要に応じて随時行っています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		自立支援、創作余暇活動に取り組んでいます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	○		療育プログラムに加え、利用児の行いたいことを聞き、それに合わせた活動を取り入れています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		医師、看護師と連携し支援を行っています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		送迎時に学校職員と利用児の健康状態等の情報共有を行い、支援に活かしています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		同法人内で運営している児童発達支援センターからの移行児童が多く、情報共有を行っています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		保護者の同意を得た上で必要に応じて提供していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		感染症予防及び個人情報を守る観点から、実施しておりません。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		他の部署から部会等に参加しているため、情報共有に努めています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳で日々の様子を伝えると共に、送迎時に口頭で活動の状況等を伝え、共通理解を図っています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に運営規定や支援プログラム、利用者負担等について説明を行い、質問等あればその場で答えています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		面談時に本人や保護者の方のニーズを聞き、それに基づいた支援を考えています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		支援内容の説明を行い、保護者から同意を得たうえで署名をいただいています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		相談内容に応じて、各職種で対応しています。必要に応じて、多職種で検討し対応しています。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	保護者会及びきょうだい同士での交流の機会は設けておりません。	今後、必要であれば検討していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	申し入れや相談があった場合は多職種で検討し、できるだけ迅速かつ適切に対応していきます。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○	ホームページや掲示板、広報誌、Facebook等で、各種情報や行事について掲載しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	個人情報保護マニュアルに基づき、適切に管理しております。また、研修会を毎年行い、重要性の認識と取り組みを徹底し、個人情報の適切な取り扱いを行っています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	利用児には、必要に応じて教材を工夫しています。保護者には、パンフレットや書面等で情報伝達しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		感染症予防及び個人情報の観点から、実施しておりません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	各マニュアルを策定しており、定期的に研修も行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	BCPを策定しており、火災、水害、地震を想定した避難訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○	保護者より状況を共有し確認しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	かかりつけ医のアレルゲン検査チャート等を提出していただき職員間で情報共有し、適切に対応しています。食物アレルギーに関する医療安全研修を行っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	発生した場合は報告書の提出と会議で改善策を検討しています。同じ事例が発生しないよう口頭報告や書面回覧等で職員に周知徹底するとともに危機管理意識をもって改善に努めていきます。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			